

緩和ケアだより

松江市立病院 緩和ケア病棟広報誌

緩和ケア病棟の夏祭り

2020

vol.

30



 松江市立病院 緩和ケア病棟

題字デザイン：Katsuto Nagira

緩和ケア病棟の理念

緩和ケアとは、苦痛の緩和を必要とする悪性疾患の患者とその家族のQOL（人生と生活の質）を改善することです。

当院緩和ケア病棟では、患者やその家族の想いを可能な限り尊重し、その人らしい生活を送ることができるように、さまざまな専門家とボランティアがチームとして支えます。

基本方針

1. 痛みやその他の苦痛となる症状を緩和します。
2. 患者さんがその人らしく生きることができるように支えます。
3. 無理な延命や意図的に死を招くことはしません。
4. 病気の早い段階から適用し、積極的な治療に伴って生ずる苦痛にも専門性をもって対処します。
5. 患者さんの希望に沿い、在宅への支援を行ないます。
6. 患者さんの療養中から死別した後に至るまで、家族が様々な困難に対処できるように支えます。



CONTENTS

● Message 『緩和ケア病棟師長 2 年目を迎えて』	1
● 新入職員紹介	2
● 今回のミドコロ～夏祭り～	3・4
● 季節の行事	5・6
● 徒然日記	7





看護師長
和田 祥恵

緩和ケア病棟師長 2年目を迎えて

編集部（以下編）

今回は、看護師長の和田祥恵さんにインタビューという形でお話を伺っていきたいと思います。

和田師長さん、10数年前市立病院が移転し、新しく緩和ケア病棟が出来て、最初は看護師として配属されましたよね。当時は本当に何もかもが初めてで、看護師さんはもちろん医師でさえ、皆がどうしたらいいかわからなくて手探りで病棟を作っていたのを懐かしく思い出します。異動に異動を重ねて、2年前に看護師長として病棟へ戻ってこれ、一言で感想を言うとしたらどんな感じですか？

和田師長（以下和）

新病院開院、そして緩和ケア病棟開設から15年が経ち、スタッフも変わる中でその時々で悩んだりしながら、病棟で過ごしてきました。色々な変化はあるけれど、緩和ケアの根っこは変わらないと思います。それが大事に守れるようにしていきたいですね。

編 今年の最も大きな話題と言えば、やはりコロナだと思えますが、大きく影響を受けたと思うところはありますか？

和 面会の制限の対応や、日々変わる情報をスタッフ皆で共有しました。患者さんにご家族の大切な時間をどう私たちが繋げていけるのかを深く考えさせられましたね。

編 なるほど。面会制限の中で、ご家族との時間を守る、というのは本当に難しいことだと思います。ご家族に患者さんの様子を伝えるための『つれづれのーと』の活用も新聞にとりあげられていましたが、あれもそのひとつですね。色々な工夫がうかがえますね。話は変わりますが、今回掲載されている特集の行事ではかなりご活躍されていて…その…コスプレ？ は、きっかけとかあるんですか？

和 (笑) 以前入院されていた患者さんに「一緒に

やってもらえんか？」と声を掛けて頂いたことがきっかけです。「あんた、巫女さんしてよ。わし、神主するけん！」といわれて、「えー！いいですね、やりましょう！」と、二つ返事で引き受けました。それからは、なんだかやらないとうずうずして…(笑)もう趣味の域に達してます。だれか後を継いでくれる人がいるといいんですけどね～。募集中です！

編 中々いらっしやらないと思いますよ！敵いませんもんね(笑)。

それでは最後にマジメな話を…

管理職として、看護師として、そして一人の人間として患者さんと関わるという事とは。そしてスタッフをみる目というか、感じるどころがあれば教えて下さい。

和 管理職として、何ておこがましいです。この緩和ケア病棟が、入院された患者さんやご家族にとって、HOMEとなるような環境を作っていたらと思っています。人間として、もう気づけば半世紀が経ち、50歳過ぎちゃいました。私がなぜ緩和に長くかかわることが出来たか、というと、色々な人との出会いがあって、ここまでこれたかなあ、という感じです。スタッフ皆一生懸命に病棟を支えてくれていると思います。みんな悩んだり、辛くなったりするときもあると思います。時々気は緩めても、でも締めるとこは締めて。メリハリのある関わりが出来るともっといいなあ、と思います。

編 ありがとうございます。これからどんどん和田師長のカラーが出てくるの、楽しみです。和田師長さんも、身体もう少し締めながら、メリハリあるボディ、緩和ケア病棟を目指していきたいですね！

今日は本当にありがとうございました！

新入職員紹介

緩和ケア病棟のスタッフは、症状緩和、その人らしさを大切にした日常生活の援助、家族のサポートなどに努めています。

また、患者さん、ご家族の希望を把握し、環境を整え、多職種間での調整役をしています。

このコーナーでは松江市立病院の緩和ケア病棟の新しいスタッフを紹介します。



看護師

山根 千春



看護師

大彌 麻希



看護師

濱坂 志保



看護師

米村 智子



看護師

藤堂 裕子



今回の
ミドコロ

夏祭り



8月20日(木) 夏祭りを行いました。今年はコロナのために水郷祭が中止、水郷祭だけではなくその他のお祭りが全て中止となってしまいました。そんな中で、少しでも夏の思い出を作ってもらえればと、職員全員で病棟初の行事『夏祭り』を開催しました。いつもならばご家族の皆さんにもお声がけし、大勢来ていただくところですが、やはりコロナのためにそれも出来ず、せめて患者さんだけでも夏のひと時を楽しんでいただくべく、職員全員で取り組みました。そして看護師長渾身のコスプレ!『スイカ』です。



前姿



後ろ姿



研修医とスイカ(笑)



患者さんも金魚すくいを楽しみました



スイカですが
なにか?



見ろ! スイカだよ
スイカ!
なんでスイカ?!



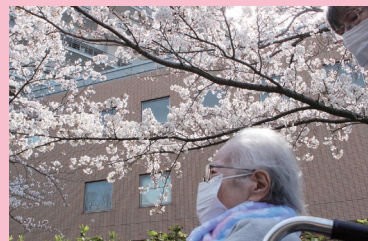


花

令和2年3月30日(月)

見

世間はコロナで大騒ぎですが、この日はみんなで順番にゆっくりと花見に出かけました。病院の周りに毎年見事に咲く桜の花に酔いしれました!



端午の節句

令和2年5月14日(木)

端午の節句を行いました。コロナ禍の真ただ中、ソーシャルディスタンスを保ちながら、マスクをして、患者さんも順番にお出かけいただき、密集しないように気を付けました。写真を撮るとき以外は全員マスク着用はもちろんですが、やはり表情が見えないのは寂しいですね。看護師長の決死の仮装に、コロナ退散を願うばかりです。



安部先生のハーモニカ演奏でオープニング



これが緩和ケア医と病棟看護師長って…いやいや、皆様に喜んでいただくために必死の努力です。



初司会で緊張中



近くで見ると迫力あります

七

令和2年7月2日(休)

夕

七夕会を開催しました。コロナ騒ぎもやや落ち着き、3密に気を付けながら行いました。せっかくのきれいなコスプレもマスクでちょっと残念でしたね。織姫彦星は可愛らしかったけど、和田看護師長の笹コスプレには誰もかかないませんでした。



びっしりと飾られた笹。みんなの願いが届きますように。「コロナ撲滅」が多かったね。



今年もスイカがおいしかったなあ〜♪



患者さんも一緒に歌って下さいました。



向こうに見える笹のお化けが可笑しくて、この後フルーツ吹けなくなっちゃったんです。



織姫彦星はわかります。真ん中の生物は？!



最後はみんなで合奏&合唱。



しかし存在感あるなあ



中右医師と西音楽療法士のミニコンサート。ソーシャルディスタンスを保つため、患者さんとかなり離れてます!



たまたま診察に来られた他病棟の先生もこの表情。びっくりさせてごめんなさい。



看護助手さんと♡



安部先生、見て見ぬふり!

徒然日記



今回の徒然日記は、和田看護師長のコスプレ振り返りです。和田師長「思えば最初は、患者さんに声を掛けてもらったのがきっかけでした。クリスマスに患者さんと一緒に巫女のコスプレをさせてもらってからは…なんとというか…私の中で何かがはじけたんです。今では唯一の私のストレス解消、楽しみになっています」と語る和田師長。これからのどんなコスプレを見せてくれるのか楽しみです。それにしても毎回すごいインパクトです。

夏祭りのスイカ



七夕の笹



端午の節句の金太郎



源頼光と金太郎 (坂田金時)?!



ひな祭りのおひなさま



初

クリスマスで初の巫女コスプレ



節分の鬼



患者さんと巫女さんをやったのがきっかけでした。

編集後記

2020年は、日本はオリンピック・パラリンピックに大いに沸く予定でした。それが、お正月が明けてしばらくすると何やら騒がしくなり、とうとう日本にも『新型コロナウイルス』がやってきました。オリンピック・パラリンピックの延期、夏の甲子園の中止、その他にも沢山の催し物が中止となり、経済は大打撃を受けました。いつまで続くのか、世界中で鬱々とした状況が今なお続く中、自分たちにできる事はなんだろうか、と自問自答の日々が続きます。

それでも人類は常にウイルスと共存してきました。

新しい生活様式の中で、人間はたくましく、それなりの楽しみを見つけながら生きています。

病院も新しい生活様式の中、新しい診療様式、療養環境の提供など、早急に見直していく時代に突入したのではないのでしょうか。

とりあえず、院内に Wi-Fi 飛ばしましょう、院長！

西 紫

編集
委員会

編集長：安部 睦美
校正：岩下 智之、和田 祥恵
編集・写真：西 紫

令和2年10月 発行

松江市立病院 緩和ケア病棟

〒690-8509 島根県松江市乃白町32-1

TEL : 0852-60-8000 (代表) / FAX : 0852-60-8005 (総務)



松江市立病院
MATSUE CITY HOSPITAL